

令和6年度 第4回新和産業カップ バasketボール大会 兼 北海道中学校Basketボール新人大会南大会室蘭地区予選 大会要項（確定版）

- 1 主催 室蘭地区Basketボール協会
- 2 協賛・後援 協賛：新和産業株式会社 後援：西胆振中学校体育連盟
- 3 期日・開場 10月19日（土）・20日（日） 登別市総合体育館
26日（土）・27日（日） 室蘭市立星蘭中学校
- 4 参加予定校
【男子】 伊達、室蘭西、港北、翔陽・星蘭（合同）、桜蘭、東明、鷺別、緑陽、西陵、明日 【計10チーム】
【女子】 伊達・光陵（合同）、室蘭西・星蘭（合同）、港北・翔陽（合同）、桜蘭、東明、鷺別、緑陽、
幌別・西陵（合同）、明日 【計9チーム】
- 5 参加資格
 - ・本年度道協会に『チーム区分：中学校』として加盟登録済みのチームおよび選手で、中学校1・2年生で編成されたチームとする。（登録は2024年9月末までに済ませていること）
 - ・合同チームの出場は認めるが、中体連の合同チーム条件を満たしていること。（母体の有無を報告する）
 - ・市町村で運用している拠点校方式によって一つの部活動として活動しているチームについては、それぞれの学校に大会出場最低人数以上の選手がいても、合同チームとして新人大会に出場することを認める。
 - ・本年度道協会に『チーム区分：クラブ』として加盟登録済みのチームおよび選手のうち、地域クラブの参加を認める。ただし、詳細については、北海道中学校体育大会開催基準と同様とする。
 - ・各地区の予選を勝ち抜いたチームに所属する中学生で、当該中学校の校長が出場を認めた選手であること。
なお、予選から本大会までの期間、転校等によって所属チームを移動して出場することは原則として認めない。
 - ・参加チームの引率責任者、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーは当該中学校の校長が認めたものとする。指揮をとるコーチまたはアシスタントコーチについては、JBA公認E級コーチ以上とする。予選リーグ試合前に各会場においてコーチライセンスのチェックを行う（2日目、3日目は行わない）。毎試合ホルダーは首から掲げる。

※地区予選においては、チーム事情を考慮し、規定のライセンスを所持するコーチがいない場合であっても、監督会議での了承が得られた場合は特別に認める（ただし全道大会では認められない）。
- 6 大会参加料 1チーム 8,000円
- 7 登録人数 1チームは引率責任者・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー各1名と選手15名の計19名以内とする。

※チームトレーナーを帯同させる場合は、別途申請が必要とし申請書を提出することとする。（全道大会については確認中）
- 8 選手登録 選手登録ファイルへ必要事項を入力する（後日、メールにて選手登録ファイルのURLをお知らせします） 〆切：10月4日（金）16：00

※不明な点はU15部会競技G鹿野（星蘭中学校）まで(kano.hidetoshi@muroran.ed.jp)

- 9 競技方法 予選リーグを勝ち上がった6チームによる変則決勝トーナメント戦を行う。トーナメントを勝ち上がった3チームによる南大会代表決定リーグ戦を行う。
- 10 組み合わせ 9月30日(月)に行われる監督会議にて抽選を行う。組み合わせについては別紙の通り。
- 11 表彰 ・チーム表彰は、優勝、準優勝、3位チームに賞状を授与する。
・個人表彰は、ベスト5の選手に協賛の新和産業株式会社より楯を授与する。
- 12 南大会への出場
男女とも上位2チームには、12月26日(木)～28日(土)に江別市・千歳市で開催される新人大会南大会への出場権が与えられる。
- 13 春季大会のシード権
・男女とも上位2チームには、4月(～5月)に地区で開催予定の春季大会のシード権が与えられる。
※中体連西胆振大会のシード権は春季大会上位2チームに与えられる。
・合同チームが新人戦で春季大会のシード権を得た場合において、春季大会エントリーの際に合同チームが解消となったとき、
①母体となるチームがある場合、母体のチームにシード権を与えるものとする。
②母体となるチームがない場合、シード権は失うものとする。その場合補うことはせず、シード枠はフリー抽選とする。
- 14 競技規則について
・最新の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則を基本とする。
ただし地区大会において、ユニフォームの規定については扱わないこととする。またソックスの色はそろえるものとする。
・JBAより提案されているマンツーマンディフェンスの基準規則に則る。
- 15 リーグ戦における順位決定
(1) チームの順位は、勝ち点により決定する。勝ったチームは勝ち点2、負けたチームは勝ち点1、ゲームを没収されたチームは勝ち点0とする。
(2) 2チームの勝ち点と同じ場合は、当該チーム間の対戦成績により勝者を上位とする。
(3) 3チームの勝ち点と同じ場合は、当該チーム間の対戦成績において、得失点差が多いチームを上位とする。〈得失点差=総得点-総失点〉なお、3チームのうち、2チームの得失点差が同じだった場合は①、3チームとも得失点差が同じだった場合は②のようになる。
①得失点差が同じだった2チーム間の対戦成績において、勝者を上位とする。
②当該チーム間の対戦成績において、総得点が多いチームを上位とする。
※それでもなお上位チームが決定できない場合は、「2015～日本バスケットボール協会 競技規則 D：チームの順位決定方法」(P.134～)に従って上位チームを決定する。
- 16 その他
・地区予選における審判について、帯同審判制とはしない。※全道大会においては帯同審判制(JBA公認C級以上)です。チームで帯同審判を確保できない場合は、所属地区の審判委員会に相談すること。
・全道大会において、マンツーマンコミッショナーも帯同制になる予定です。